2025年度　～ 地球市民をめざして ～

開発教育セミナー

6月22日（日）　＜共催　京都市国際交流協会＞

第 1 回　**開発教育入門セミナー**　［会場　kokoka 京都市国際交流会館］

～人権、平和、環境などの地球的課題を参加型学習で考えるワークショップ～

・世界がもし100人の村だったら～過去・現在・未来の世界について考える～
・「ことば」で世界を探検しよう！

講師 大槻一彦さん、佐藤 友紀さん、織田 雪江さん、友前 尚子さん

9月13日（土）～14日（日）

第 2 回　**パレスチナから「平和」を考える**
～私たちは欧米中心の認識を乗り越えられるか～

講師 金城　美幸 さん

10月4日（土）～5日（日）

第 3 回　**国連を超えて**
～国際平和を探究する平和教育の実践から～

講師 野島 大輔 さん

11月1日（土）～11月2日（日）

第 4 回　**コモンズとしての食**
～食と農を私たちの手に取り戻すには～

講師 山本 奈美 さん

12月20日（土）～21日（日）

第 5 回　**日本とコリアの過去・現在・未来**
～共に生きる隣人として出会いなおす～

講師 太田　修 さん

主催：公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー関西セミナーハウス活動センター　開発教育研究会

後援：京都市教育委員会（申請中）、京都府教育委員会（申請中）、認定NPO法人 開発教育協会（DEAR）（申請中）

◇ ごあいさつ ◇

ガザ地区のジェノサイドやロシアのウクライナ侵攻はまだまだ解決の糸口が見えません。しかし、戦闘が継続しているのはそれだけではありません。スーダン、エチオピア、ミャンマー・・・その他の国や地域でも紛争が続いています。

一方、サハラ以南のアフリカ諸国では依然として極度の貧困が広がり、南スーダンやコンゴ民主共和国などでは紛争と貧困が悪循環に陥っています。また、地球温暖化とグローバリゼーションの影響により、食料安全保障が脅かされ、状況をさらに悪化させています。

OECDの報告によると日本の相対的貧困率は15.4%（2021年）、先進国で最も貧困率が高い国の一つです。貧困と格差拡大はあらゆる場所で進行しています。これらの社会問題は、すべてどこかで繋がり、複雑にからみ合っているのです。

私たちは、開発教育が複数の側面から問題解決に貢献できる重要な手段だと考えます。その理由として、以下の三点が挙げられます。

第一に、読み書き、計算の習得から高度な技術訓練まで、質の高い教育へのアクセスは貧困からの脱出の最も効果的な手段の一つとなります。教育は個人の可能性を広げ、人としての権利の回復にもつながります。

第二に、対立解決や多文化理解を促進する教育プログラムは、対立解決と平和構築に貢献し、紛争の予防にもつながります。

第三に、グローバルな問題意識を育む教育は、国際的な連帯感を醸成し、共通の課題に対する協力体制を強化することができます。地球温暖化や感染症など国境を越えた問題に責任をもって対応する地球市民を育てることになります。

今年は戦後80年。民主主義の危機といわれる今だからこそ、お金や武力ではなく教育の持つ力を信じ、互いにつながることで、これからの未来づくりに参画していきましょう。

自然豊かな比叡山の麓の関西セミナーハウスで、みなさまとお会いできるのを楽しみにしています。

関西セミナーハウス活動センター 開発教育研究会

責任ある市民として身につけたいこと

＜基本概念＞
①文化・アイデンティティ
②相互依存・関係性
③有限性・循環
④対立・平和
⑤社会正義・平等
⑥変化・未来

＜技能＞
①調査・情報活用
②コミュニケーション
③批判的思考
④民主的な意思決定

＜態度＞
①人間としての尊厳
②興味・関心
③共感
④多様性の理解・寛容
⑤参加

当セミナーから生まれた開発教育教材集『新しい開発教育のすすめ方』、『同Ⅱ 難民』（古今書院）、『身近なことから世界と私を考える授業』、『同Ⅱ』『同Ⅲ』（明石書店）を、セミナー時には、割引価格で販売します。

2025年度 開発教育セミナー年間案内

第１回　6月22日（日）［共催］公財）京都市国際交流協会　会場：kokoka京都市国際交流会館

開発教育入門セミナー ～知る・考える・行動する ～

人権、平和、環境などの地球的課題を参加型学習で考えるワークショップ

ワークショップ①

世界がもし100人の村だったら～過去・現在・未来の世界について考える～

講師：大槻一彦（国際教育研究会 Glocal net Shiga）、佐藤 友紀（開発教育研究会）

世界の人口を100人に縮めてみたらどうなるでしょう。

ワークショップ版「世界がもし100人の村だったら（第7版）」を用い、世界の格差や多様性を体感しましょう。

ワークショップ②

「ことば」で世界を探検しよう！

講師：織田 雪江(開発教育研究会)、友前 尚子（開発教育研究会 ）

情報を伝える、感情を表す、人と人とをつなぐ・・・毎日の生活の中で何げなく使っている「ことば」世界の言語や文字の多様性を楽しみ、多言語化する社会について知り、考えましょう。

第２回　9月 13日（土）～14日（日）

パレスチナから「平和」を考える～私たちは欧米中心の認識を乗り越えられるか～

講師：金城　美幸　さん（名古屋学院大学講師）

今年1月の停戦合意の成立後、瓦礫と化したガザでは、「わが家」を目指して歩く数十万の人々の波が生まれました。危機の中、ガザでの暮らしを手放さず、土地に留まろうとするパレスチナ人の姿が届きます。ガザで起きたジェノサイドは、パレスチナ人を土地から追い立て続けるイスラエルの暴力の延長線上にあります。歴史的な迫害に苦しんだユダヤ人が、なぜパレスチナ人にあれほどの暴力を振るうのか。解決を阻む欧米中心の認識を問い、パレスチナ人の様々な声に出会いながら、パレスチナ人の視点から現代史を捉え直しましょう。

第３回　10月 4日（土）～ 5日（日）

国連を超えて～国際平和を探究する平和教育の実践から

講師：野島 大輔　さん（行政学修士［国際人道法］、国際関係学博士［平和教育学］）

誰もが平和を希求しながらも、世界では紛争や暴力が頻発しています。近年の日本国内では、戦争体験を継承し、感性や心情に訴えかける平和教育が主とされてきました。しかし世界全体の危機が心配される今、平和をつくるためには、ひとつの国の中で平和を愛する国民を育成するだけではなく、国家を超えて複雑に入り組んだ対立の構造を根本から読み解き、創造的に解決していく力が必要になってきています。国連の次の世界をどう構想・提案していくか？　…平和学や国際的な平和教育研究を元にした、中学・高校での10年間の探究学習をヒントに、いま求められる世界平和の姿や平和教育の明日の姿について、ともに探っていきましょう。

第４回　11月 1日（土）～ 11月2日(日)

コモンズとしての食～食と農を私たちの手に取り戻すには～

講師：山本 奈美　さん（明治国際医療大学基礎教養講座助教／農学部設置準備室）

2024年夏に起こった米不足は、その後のコメの価格高騰や政府の備蓄米放出などを通じて、食を「商品」として消費している私たちの日常生活に大きな影響を与えました。その背景には、今、地方で深刻化している、農業の担い手不足、高齢化、過疎化、山野の荒廃、耕作放棄地の増加、獣害といった山積みの課題があります。このような複雑に絡み合う「やっかいな問題」を、「持続可能性」の視点から紐解くとともに、食と農を共有財産＝「コモン ズ」としてだれもが恩恵を受け維持にかかわることができるような未来予想図を作図し、実現に向けた道筋を考えましょう。

第５回　12月 20日（土）～ 21日（日）

日本とコリアの過去・現在・未来～共に生きる隣人として出会いなおす～

講師：太田 修 さん（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科）

今年は戦後80年、「日韓条約」から60年の節目の年です。この間日本は、植民地支配に対する謝罪や補償について、真摯に向き合ってきたのでしょうか。今では幅広い世代でK-pop・韓国ドラマなどを楽しんだりコリア語を学んだりするようになった一方で、歴史を学び、語ることを避ける傾向も同時に存在します。日本と朝鮮半島との関わりや日韓近代史を学びなおし、共に東アジアの平和と友好を築く隣人となれるように、一人の市民としてできることを考えていきましょう 。

◆ 開発教育セミナー ◆

1989年に始まり、関西セミナーハウス活動センターの 主要プログラムとして開発教育研究会を中心に行っています。安心して発信できる雰囲気を作り、対話を促進し、1泊2日の中で、人権・平和・環境・開発という地球的課題に取り組み、教材やアクションプラン作りをめざしています。

しなやかで元気のでる学びの場を、みなさんの「参加」で作っていきましょう。

◆ 開発教育セミナー要項 ◆

対象：開発教育に関心のある方。

定員：①40名、②～⑤20名程度

参加費：第1回 2,000円、
第2~5回13,500円（1泊2食、宿泊税込）

申込み：下記へ締め切り日までにお申し込みください。

＊各回要項もご確認ください。ウェブサイトでもご覧いただけます。

◆ すすめかた ◆

参加型学習の基本になる「話し合い」を軸にしたワークショップ形式で行います。

◆ タイムテーブル ◆ ［第２･～５回］（第1回は要項参照）

【１日目】
15:30 － 受　付
16:00 － セッション①
18:00 － 夕　食
19:00 － セッション②
21:00 － 交流会（自由参加）

【２日目】
8:00 － 朝　食
9:00 － セッション③
12:00 － 終　了

＊２日目の昼食が必要な方は申し込み時に、ご予約ください。（追加料金：1,150円予定）

＊当日、教材（書籍）の展示・販売も行います。

＊プログラムの構成上、できるだけ全日程でご参加ください。
＊部分参加は事務局にご相談ください。
＊定員に達した場合、締め切ることがあります。
＊宿泊は、2～3名の相部屋です。個室ご希望は、申込時にお知らせください。追加料1,000円。
＊前日以降の取消・変更は、一部キャンセル料がかかります。

●開発教育セミナーでは、多くの方々にご参加いただけるように、開発教育資料センター(主に書籍の売上金)から参加費を補助してきました。しかし、今後は補助を続けることが難しくなり、やむなく参加費を値上げすることになりました。何卒、ご理解いただきますようお願いいたします。

◆ 会場のご案内 ◆

京都市国際交流会館（kokoka）　（第１回）

京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
電話：075-752-3010　http://www.kcif.or.jp
・地下鉄東西線「蹴上（けあげ）」出口2から徒歩6分
・市バス「岡崎公園 美術館･平安神宮前」から徒歩10分、
「南禅寺･疎水記念館･動物園東門前」から徒歩1分
・駐車場（有料）、駐輪場（無料）

関西セミナーハウス　（第２～５回）

・地下鉄烏丸線「北山」出口2からタクシー10分
・市バス「修学院道」「修学院駅前」、叡山電車「修学院」から徒歩20分
・駐車場（無料）

◎ 開発教育とは ◎

私たちひとりひとりが、開発をめぐるさまざまな問題を理解し、望ましい開発のあり方を考え、公正な地球社会づくりに参加することをねらいとした教育活動です。
そのために、開発教育は次のようなことをめざしています。

・世界の文化の多様性を尊重する
・貧困や南北格差の現状と原因を理解する
・開発問題と地球的諸課題との関連を理解する
・世界と私たち自身とのつながりに気づく
・社会参加できる能力と態度を養う

（特活）開発教育協会（http://www.dear.or.jp）の定義より

【申込み・問合せ】
公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
電話:075-711-2117(直)
FAX:075-701-5256
Eメール:office@academy-kansai.org
http://www.academy-kansai.org
公式HP

・・・・・・・・・・・・・2025年度 開発教育セミナー申込書・・・・・・・・・・・・・・・

名前（フリガナ）		所　属	

参加を希望する回に、○をつけてください。
第１回　６/２２（　　）　第２回　９/１３-１４（　　）　第３回　１０/４-５（　　）
第４回　１１/１-２（　　）　第５回　１２/２０－２１（　　）

住所（〒　　－　　）
電話（　　）　　－　　ファックス（　　）　　－
電子メール：　　@

通信欄